

# 湘南の新窯元 ◇ 5



分校跡に建つ「陶房山本」の山本真郎さん。近くには箱根の関所と同等位の矢倉沢関所や、足柄山の金太郎が産湯をつかったという滝や動物と遊んだという石がある



1



2



3



4



5



6



8



7

- ①「土鍋」高さ17cm、32×27cm
- ②「土鍋」高さ16cm、29×25cm
- ③「練込水指」高さ16cm、径15cm
- ④2点とも「練込茶碗」〈左〉高さ6cm、径13cm  
〈右〉高さ7cm、径14cm
- ⑤「黒水指」高さ15cm、径18cm
- ⑥「黒茶碗」高さ9cm、径12cm
- ⑦「粉引片口」高さ6.5cm、18×16cm
- ⑧「粉引壺」高さ24cm、径18.5cm

## 南足柄・矢倉沢 山本真郎さん

### 端正で多彩な器づくり

奥さんと通った陶芸教室で、やきものが好きになった広島生まれの山本真郎さん。アシスタントを経験後、2002年伊豆箱根鉄道大雄山線の終点・大雄山駅か車で10分ほどの分校跡に窯を築いた。粉引、練込、そぎなど、さまざまな技法による生活雑器を制作して個展やグループ展で発表してきたが、近年は土鍋も手掛け、ネットでの通販を開始した。また今年からは、コンパクトな薪窯で自分なりの焼締に挑む。多彩な生活雑器、いろいろな焼成を展開する陶房山本をレポートした。



化粧土が掛けられた新作シリーズ

#### PROFILE

1968年  
広島に生まれる  
1999年  
ファイナンシャルプランナーとして会計コンサルタント事務所に勤めながら、陶芸家のアシスタントを始める  
2002年  
独立し工房を開く  
以後、神奈川や東京などで毎年個展やグループ展を開く